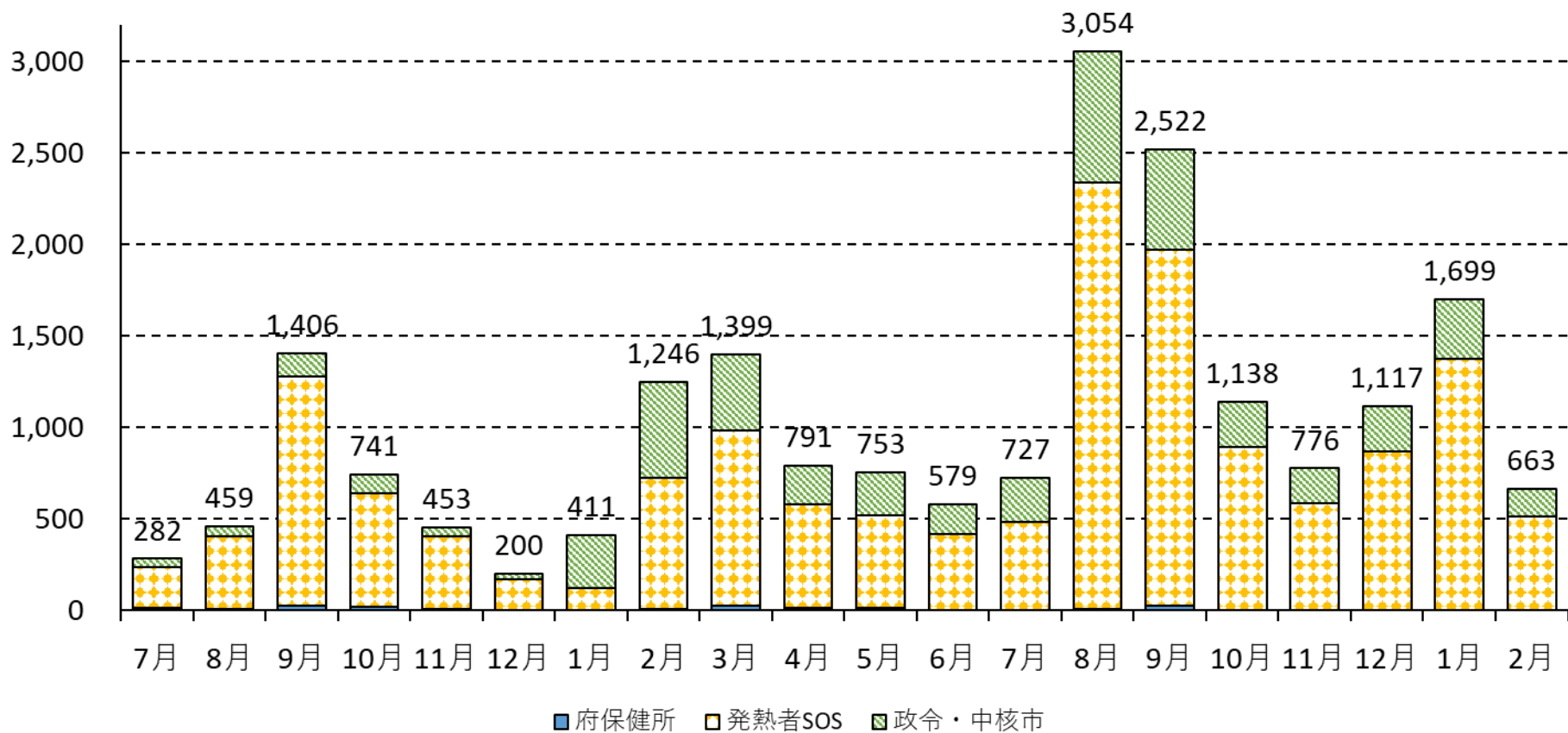


# 大阪府における後遺症相談件数の推移 (令和5年5月8日現在)

政令・中核市を含む後遺症相談件数 (令和3年7月8日～令和5年2月28日) N=20,416



※発熱者SOS：大阪府新型コロナ受診相談センター

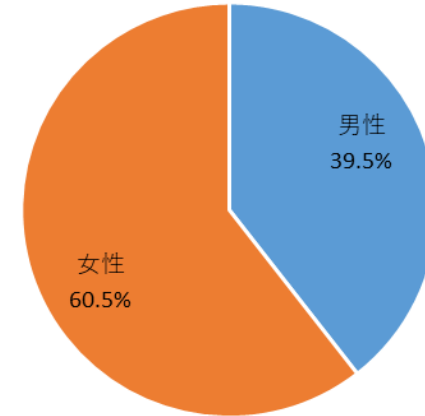
# 発熱者SOS(大阪府新型コロナ受診相談センター)における後遺症相談の概要

## ◆相談者の属性

集計期間：  
令和3年7月8日～令和5年1月31日  
相談件数：14,800件

※相談件数は、大阪府新型コロナ受診相談センターで受けた相談の内、後遺症に関する具体的な相談を受理した件数

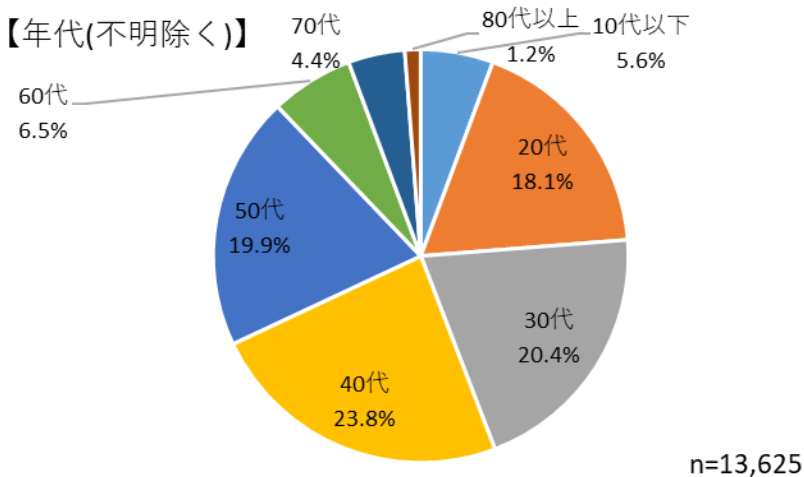
【性別(不明除く)】



n=14,709

相談者は6対4で女性が多い

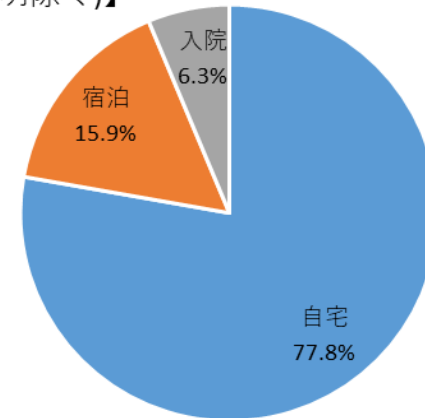
【年代(不明除く)】



n=13,625

50代以下で全体の約9割を占める

【療養区分(不明除く)】



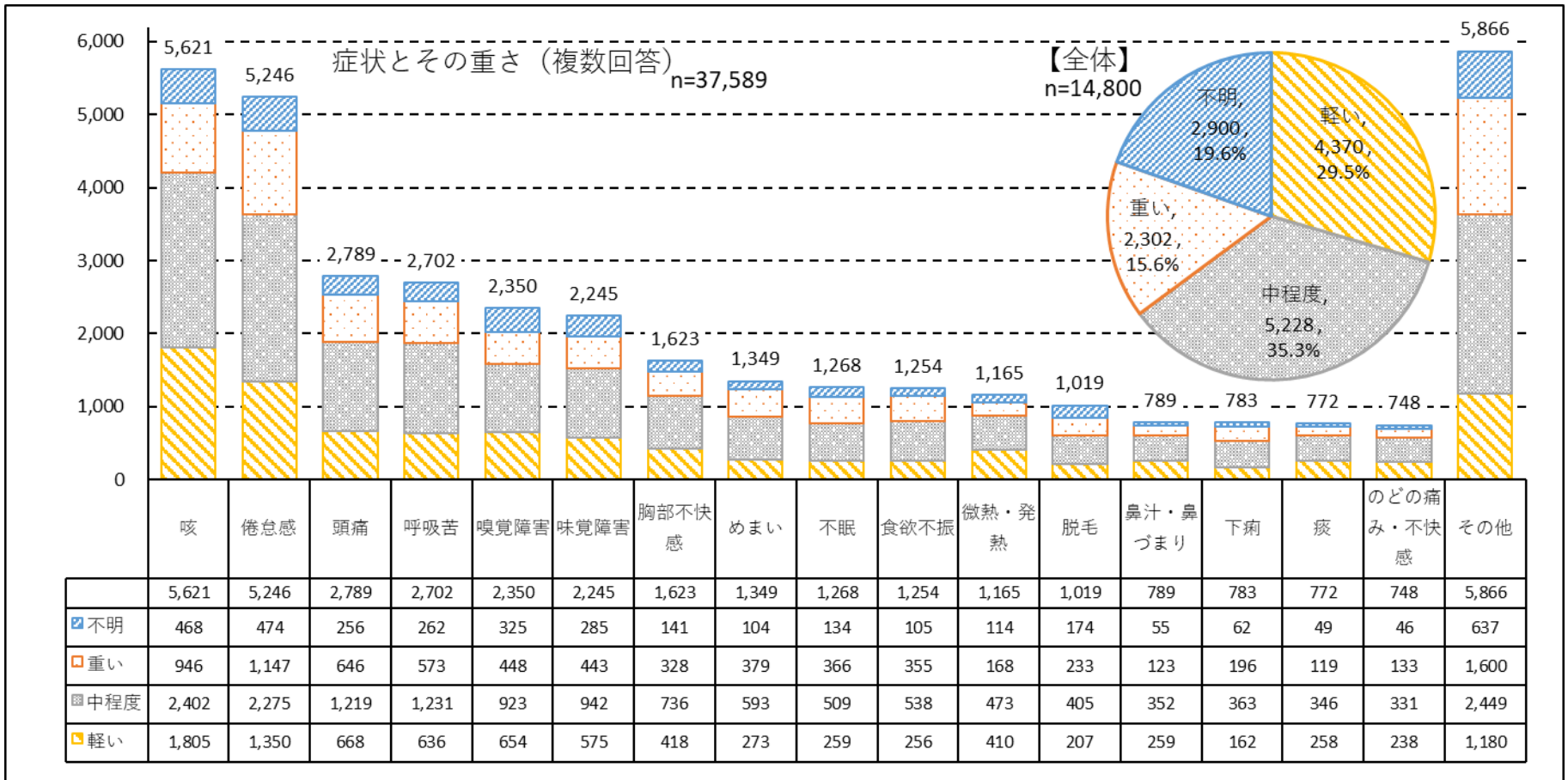
n=12,564

自宅療養が約8割、入院は1割以下であった

# 発熱者SOS(大阪府新型コロナ受診相談センター)における後遺症相談の概要

## ◆主な症状とその重さ

咳、倦怠感、頭痛、呼吸苦、嗅覚障害の順に変動はないが、鼻汁・鼻詰まりやのどの痛み・不快感が増加傾向にある。



## その他症状

関節痛、集中力・記憶力低下、筋肉痛、おう吐・吐き気、体の痛み、うつ・気分の落ち込み、胃部不快感・腹痛、動悸、手足の震え・しびれ・冷え など

※令和3年7月8日～令和5年1月31日実績 ※本概要には政令・中核市の相談実績は含まない

# 発熱者SOS(大阪府新型コロナ受診相談センター)における後遺症相談の概要

## ◆年代別の主な症状

60代で咳が倦怠感を抜き1位となった以外は変動なく、咳、倦怠感、頭痛が上位の多くを占め、50代、60代で呼吸苦、70代以上で食欲不振が上位となっている。

年代		1位		2位		3位	
10代以下	N=1913	倦怠感	14.5%	頭痛	11.0%	咳	10.8%
20代	N=6612	咳	16.8%	倦怠感	13.9%	頭痛	8.5%
30代	N=7586	咳	15.3%	倦怠感	13.3%	頭痛	7.5%
40代	N=8788	咳	14.4%	倦怠感	13.9%	頭痛	7.7%
50代	N=7390	咳	15.4%	倦怠感	14.1%	呼吸苦	7.6%
60代	N=2252	咳	15.1%	倦怠感	14.3%	呼吸苦	7.1%
70代	N=1491	咳	14.0%	倦怠感	13.0%	食欲不振	6.8%
80代以上	N=407	倦怠感	18.2%	咳	12.3%	食欲不振	8.4%
不明	N=1150	倦怠感	16.8%	咳	12.3%	嗅覚障害	7.5%